

第 3 回

安芸太田町かわまちづくり協議会次第

令和 8 年 5 月 2 6 日（火）

1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

安芸太田町役場本庁 東館 2 階 大集会室

1. 開会

2. 議事

（１）本日の内容

（２）前回の振り返り

（３）かわまちづくり計画について【内容確認】

（４）計画登録後の施策の推進について

3. 今後の予定

4. 閉会

第3回安芸太田町かわまちづくり協議会 説明資料

令和8年5月26日

- (1) 本日の内容
- (2) 前回の振り返り
- (3) かわまちづくり計画について【内容確認】
 - 1. 計画概要
 - 2. 地域の文化・資源をつなぐ取組（地区間連携のイメージ）
 - 3. 基本理念
 - 4. 利活用・整備計画（各地区における整備・利活用イメージ）
 - 5. 維持管理計画（国、町、地域住民・事業者の役割分担イメージ）
- (4) 計画登録後の施策の推進について
- (5) 今後の予定

1. 本日の内容

【今回の目的】

- ①確認すること： かわまちづくり計画 …p4～14
- ②ご意見が欲しいこと： 取り組みの試行アイデア …p17

■これまでの経緯と申請までの流れ

	【温井地区】	【津浪地区】
令和2年度	H16.4「温井ネットワーク協議会」設立。地域活性化・地域連携の取組開始 H20「温井ダム水源地域ビジョン」策定 H25「龍姫湖湖面利用に関する暫定運用」策定 湖面利用の取組スタート	H23～「ぷらっとホームつなみ」開設 H28 農林水産省『第3回ディスカバー農山漁村（むら）の宝』に選定 R2～ぷらっとホームつなみ前面の親水施設整備と合わせた拠点化について町から太田川河川事務所へ要望 R3「津浪の棚田」が農林水産省『つなぐ棚田遺産』に選定
令和3～4年度	R3～湖面利用に関する地域の要望 R4.9～湖面の民間活用に向けた社会実験開始（R4～R6年度） （ウォーターアクティビティ、飲食・物販、情報発信、受入環境整備、イベント開催等） R4.10「龍姫湖利用協議会」設立	R3～温井ダム～津浪地区のかわまちづくり計画検討開始 ・棚田作業の受託、棚田ブランド米生産の取組 ・広島市内の大学と連携した棚田ビオトープ作り ・希少植物（ホソバナコバイモ、カタクリ）の保護活動 ・ラフティング等の川遊び、あまごのつかみ取りなど、太田川を活用したイベントの実施
令和5～6年度	R5「Lake Ryuki Water Complex」設立 R6.4 インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに温井ダムが選定 R7.3 都市・地域再生等利用区域指定（湖面利用オープン化） R7.6 「（一社）NUKUI OUTDOOR FIELD）」設立	R7.7 津浪振興会へのかわまちづくりに関する意見聴取 R7.11 ぷらっとホームつなみへのかわまちづくりに関する意見聴取
令和7年度	R7.8 温井地区かわまちづくりワークショップ実施 R7.10～インフラツーリズム社会実験開始（見学放流ツアー） R8.2「安芸太田町かわまちづくり協議会」設立・第1回協議会開催 ※現在までの検討状況の確認、意見聴取	
令和8年度	R8.4.10 地区間連携に関する意見交換会 ※「かわまちづくり」の取組を通じた地区間連携・社会実験について意見交換 R8.4.24 第2回協議会開催 ※かわまちづくり計画素案の確認 R8.5.26 第3回協議会（本日） ※かわまちづくり計画の確認・承認 R8.6 かわまちづくり計画書申請（予定）	

↓ いただいたご意見を踏まえ計画書案を修正

2. 前回の振り返り

第1回 安芸太田町かわまちづくり協議会

日 時：令和8年2月19日(木) 10:00～11:00
場 所：安芸太田町役場

○議事次第

- 1.開会
- 2.議事
 - (1) かわまちづくりの概要について
 - (2) 規約の規定について
 - (3) 協議会役員の選出について
 - (4) 現在の検討状況について
- 3.その他
- 4.閉会

○出席者名簿

所属	役職	氏名	備考
温井ネットワーク協議会	会長	佐々木 克己	
(一社) NUKUI OUTDOOR FIELD	代表理事	福田 真弓	
津浪振興会	会長	末田 健司	
ぶらっとホームつなみ		栗栖 開記	代理
太田川上流漁業協同組合	代表理事組合長	岡田 重男	
安芸太田町PTA連合会	会長	藤井 将和	
安芸太田町商工会	事務局長	末國 浩二	
(一社) 地域商社あきおおた	事業本部長	寶珠 真一	副会長
安芸太田町	道の駅推進チーム 担当課長	瀬川 善博	会長

※太田川河川事務所、温井ダム管理所はアドバイザーとして参加



○主なご意見

- かわまちづくり制度について
 - ・かわまち申請ポイントとなる「熱意の高さ」とは。(商工会)
 - 会議を通じて皆さまのご意見や地域の方のご意見を計画書へ反映することを示す。(太田川河川事務所)
- 規約案について
 - ・地縁団体の温井徳行会を加盟してはどうか。(温井ネットワーク協議会)
 - 承知した。(事務局)
 - ・協議会の最終目的はかわまち計画策定までとなるのか。
 - フォローアップを含むかわまち推進に係る協議を目的としている。第2条(目的)の文面を修正する。(事務局)
- 役員選出について
 - ・会長は安芸太田町 道の駅推進チームの担当課長 瀬川委員とする。
 - ・副会長は(一社)地域商社あきおおた事業本部長の寶珠委員とする。
- 検討状況について
 - ・意見聴取シートにて整備計画箇所の現状課題や拠点間の連携策についてご意見いただきたい。(事務局)

2. 前回の振り返り

第2回 安芸太田町かわまちづくり協議会

日 時：令和8年4月24日(金) 14:00～16:00
場 所：安芸太田町役場

○議事次第

- 1.開会
- 2.議事
 - (1) 本日の内容
 - (2) 前回の振り返り
 - (3) かわまちづくり計画の素案について【内容確認】
 - (4) 拠点間連携や全体コンセプトについて【意見交換】
- 3.その他
- 4.今後の予定
- 5.閉会

○出席者名簿

所属	役職	氏名	備考
温井ネットワーク協議会	会長	佐々木 克己	
地縁団体温井徳行会	会長	斉藤 正晴	
(一社) NUKUI OUTDOOR FIELD	代表理事	福田 真弓	
津浪振興会	会長	末田 健司	
ぷらっとホームつなみ		栗栖 開記	代理
(一社) 地域商社あきおおた	事業本部長	寶珠 真一	副会長
安芸太田町	道の駅推進チーム 担当課長	瀬川 善博	会長

※太田川河川事務所、温井ダム管理所はアドバイザーとして参加



○主なご意見

- かわまちづくり計画の素案について
 - ・湖面での手漕ぎボートや釣り堀は利活用案として考えられるが、環境への影響等を踏まえ、実現可能性について今後検討が必要である。（（一社）NUKUI OUTDOOR FIELD）
 - 要望として地域意見を整理しているところであるが、内容を精査する（太田川河川事務所）
- 拠点間連携について
 - ・温井ダム、加計の市内までの距離標識を国道道路上に設置するだけでなく、津浪を中心とした観光案内マップ（距離や所要時間が分かるもの）があるとういのではないかと。（津浪振興会）
- キャッチコピーについて
 - ・「水と暮らす」、「水と学ぶ」など直接的にコンセプトが分かる表現でもよいと思う。地域名は温井ダムか安芸太田町に絞り、キーワードはインフラやインフラツーリズム、水などを入れても良いと思う。（（一社）NUKUI OUTDOOR FIELD）
 - 第3回の協議会で議論できるように各自で検討してほしい。（太田川河川事務所）
- 今後の予定について
 - ・5月を目途に第3回協議会を開催し、6月にかわまちづくりの登録申請を行う。（事務局）
- その他
 - ・5/7にNUKUI OUTDOOR FIELDツーリストセンターをオープンする。（（一社）NUKUI OUTDOOR FIELD）
 - ・ぷらっとホームつなみが5月末で閉店する。（津浪振興会）

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(1) 計画概要

○かわまちづくりの方針・目的

令和7年3月策定の「第三次安芸太田町長期総合計画」や「第3期安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において「**人口減少の抑制（社会増を目指す）**」を重点方針に掲げ「**新生「道の駅来夢とごうち」を核とした観光まちづくりの推進**」「**太田川の自然と調和した快適な環境づくり**」「**地域資源を活かした産業の担い手育成**」を施策に位置付けている。

▶施策に基づく主な事業（かわまちづくり関係）

- ・町内観光地への誘客
- ・サイクルツーリズムの推進
- ・「地域商社あきおおた（DMO法人）」事業の推進
- ・河川・里山環境の保全
- ・インフラツーリズム・湖面利用の推進
- ・観光ガイド育成
- ・自然を生かした体験活動

▶かわまちと関連する事業

- ・道の駅来夢とごうち再整備
- ・加計スマートICフルインター化
- ・地域おこし協力隊事業推進
- ・伝統文化（神楽）の継承

○かわまちづくりの必要性

温井地区：ダム本体・湖面を活用したアクティビティの更なる推進

加計地区：交流館「かけはし」や月ヶ瀬温泉等施設の集客力を活用した拠点性の強化

津浪地区：東の玄関口である加計ICのフル化と連携して、河川とふれあえる環境整備

戸河内地区（整備完了済み）：西の玄関口である戸河内IC・道の駅と連携し、花見等で賑わう水辺・公園

⇒**一体整備（ハード）と地区間連携（ソフト）による流域内の回遊性・滞在性の向上** ⇒**関係・交流人口増** ⇒**社会増**



3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(1) 計画概要

○定量目標

- ・津浪地区や温井地区における親水護岸整備やインフラツーリズムとも連携した取組を推進することにより、安芸太田町の交流人口・関係人口を増やし、将来的な社会増につなげる。
- ・定量目標（年間来訪者数）

温井ダム

5年間平均（R3～R7）： 3万人 × 2倍 →（R17）目標値：6万人

ぷらっとホームつなみ

5年間平均（R2～R6）： 3万人 × 2倍 →（R17）目標値：6万人

※R8年度計画登録、R12年度事業完了、R17年度モニタリング完了 を想定

定量目標の考え方：広島県の観光計画における数値目標及び直近5年間の地域の現状値を参考とする

温井ダム（ダム本体）

来場者数（千人）※現状は目視によるカウント。インフラツーリズムの取組開始後は、ツアー参加者や湖面利用者数も集計していく想定。

R7年度：31.391	
R6年度：32.224	
R5年度：31.556	
R4年度：29.154	
R3年度：23.207	
	5年間平均 29.506
	約3万人

ぷらっとホームつなみ

レジ通過客数（千人）

R6年度：32.902	
R5年度：33.655	
R4年度：32.033	
R3年度：34.666	
R2年度：33.150	
	5年間平均 33.281
	約3万人

〈参考数値〉

○ひろしま観光立県推進基本計画（R5年2月 広島県）
目標値 観光客数：3,966万人(R3) → 1億人(R12)

約2.5倍

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(2) 地域の文化・資源をつなぐ取組

- 安芸太田町の観光資源は点在しており、それを結ぶ周遊ルートやストーリー性がなく、滞在時間を延ばす仕掛けが少ないことが課題に挙げられる。
- 加計スマートICのフル化により、西（山口）方面からの観光客の増加が期待でき、玄関口となる道の駅来夢とごうち、プラットフォームつなみが情報発信の拠点を担うことで、町内の観光施設を巡る新たな周遊ルートの確保や、新たな観光スタイルとなるマイクロツーリズムが増加するなど、地域振興の活性化が期待される。



温井ダム整備イメージ

温井地区

- ・インフラツーリズム（ダム見学・放流見学）
- ・ウォーターアクティビティ
- ・ダム湖を活用したイベントの実施
- ・サイクリング拠点
- ・宿泊（ホテル・グランピング）
- ・レストラン



情報
発信

道の駅来夢とごうち

戸河内地区

- ・観光案内(西の玄関口)
- ・サイクリング拠点
- ・安芸太田町の名産品販売
- ・マルシェの定期的開催
- ・レストラン、軽食販売
- ・公園



川・森・文化・交流センター

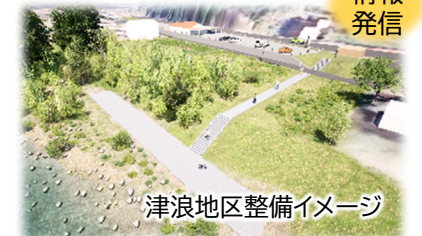


太田川交流館かけはし

加計地区

・学習拠点・交流拠点

- ・観光案内
- ・サイクリング拠点
- ・地域のイベント会場
- ・立ち寄り温泉
- ・軽食・食事処



情報
発信

津浪地区整備イメージ

津浪地区

・観光案内(東の玄関口)

- ・サイクリング拠点
- ・交流拠点
- ・地元野菜、川魚の炭火焼き、軽食販売
- ・太田川を活用したイベントの実施
- ・環境学習・自然体験の場

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(3) かわまちづくりの基本理念

- ・かわまちづくりの目標となる「基本理念」を申請書に記載します。
- ・PR向けのキャッチコピーは今後地域で協議し、用途に応じて設定します。

① **基本理念（目標）** …かわまちづくりの目指すべき方向性であり、計画策定～推進まで長期的な指針として運用していくもの

第2回協議会意見（キーワード：インフラ、水、学び、温井ダムor安芸太田）

案：「つながる水、広がる学び 安芸太田町（太田川中上流部）かわまちづくり」

目標の3つの柱

- ①インフラツーリズムやウォーターアクティビティを核とした**新たな観光拠点づくり**を推進する。
- ②拠点・地区間の連携、各種イベントやアクティビティとの連携により**町内の周遊性、滞在性の向上**を図る。
- ③温井ダム・太田川を水についての学びの場として活用し、**水源地域としての誇りを醸成するとともに、上下域と下流域の交流**を図る。

② **キャッチコピー** …基本理念のエッセンスを凝縮し、住民や来訪者の心に響くような簡潔で印象的なPRフレーズ

⇒多様な場面での利用を想定（イベント、ロゴ制作、複数メディアによる情報発信等）

参考例①（天竜川高森かわまちづくり：長野県）



天竜川高森かわまちづくりでは、「柿とカヌーと祭りの町」をキャッチコピーとして天竜川を使用したカヌー体験プログラムを開催しています



参考例②（ミズベリング宮崎：宮崎県）



ミズベリング宮崎では、「河川敷はみんなのリビングルーム」をテーマとして「大淀川リビング」を共通フレーズにイベント開催やロゴ制作をしています。



参考例③（乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり：愛知県）



市民ワークショップにより名付けられた乙川かわまちづくり民間連携事業「おとがワ！ンダーランド」では、イベント運営や広報、エリアマネジメントを実施しています。

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(4) 利活用・整備計画

①津浪地区（ぶらっとホームつなみ周辺エリア）

- ・ 交流拠点としての**トイレ**、**駐車場**、**ロードバイク駐輪場**を整備する。
- ・ 直接太田川へアクセスが可能となる**管理用通路（階段・坂路）**を整備する。



3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

（４）利活用・整備計画

②温井地区（龍姫湖周辺・湖面エリア）



凡例

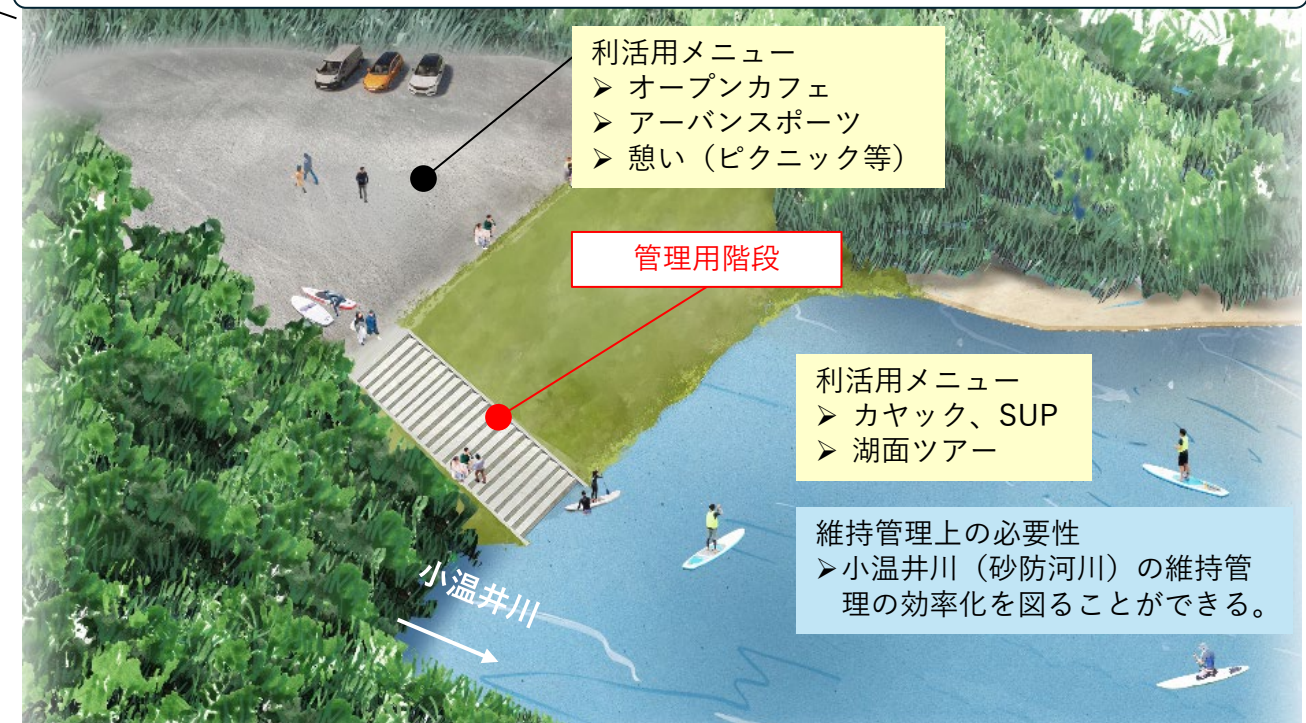
整備メニュー（国）

整備メニュー（町）

- ・湖面へアプローチしやすくするための管理用通路（坂路）を再整備する。
- ・主に動力付きボートの船着場として利用（カヤック、SUP一般利用者とのすみ分け）



- ・駐車場からつながる湖岸を利活用するための管理用階段を整備する
- ・主にカヤック、SUPなどの一般利用、湖面から小温井川へのアクセス路として利用（ウェイクサーフィンとエリア分けすることで安全に運用）



3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(4) 利活用・整備計画

③ 温井地区（龍姫湖周辺・半島エリア）



凡例

整備メニュー（国）

整備メニュー（町）

・半島から湖面一帯を見渡せる基盤整生（展望広場）を整備

利活用メニュー

- 天体観測
- ヨガ・フィットネス運動
- 湖畔カフェ
- グランピング

維持管理上の必要性

- 網場の維持管理の効率化を図ることができる。
- 堤体・湖面が一望できるようになることで日常的な巡視の効率化を図ることができる。

基盤整生（展望広場）

・半島への回遊性を高めるための管理用通路・階段（遊歩道）を整備

管理用通路・階段（遊歩道）

利活用メニュー

- 周辺施設⇄湖面へのアクセス
- 散策
- 川遊び・自然体験

維持管理上の必要性

- 日常的な巡視（徒歩）の効率化を図ることができる。

小温井川

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(4) 利活用・整備計画

④ 温井地区（ダム堤体エリア）



凡例

整備メニュー（国）

整備メニュー（町）

- ・ダム堤体利活用のための管理用階段の整備と 安全対策（落下防止ネット、立入禁止柵） を整備



- ・ダムをつなぐサイクリングコース新設のため、管理用通路（落石対策）、案内表示板、ロードバイク駐輪場を整備



3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(4) 利活用・整備計画

⑤温井地区（滝山川エリア 河川昇降路4箇所）

今回申請では整備メニューから除外、
今後可能性のある検討メニューとして申請書に記載

- ・ 滝山川については、川下り・ダウンリバー（SUP）での利活用ニーズがある。
- ・ 一方で、河川の流況等を踏まえた利活用の実現性や具体的な利活用方法については、さらなる検討・調整が必要である。今回は整備メニューとしての申請からは除外し、今後、**流量の調査や、具体的な利活用方法について地域と協議しながら、必要な整備の検討を進めていく**こととする。

●今後可能性のある検討メニュー



凡例

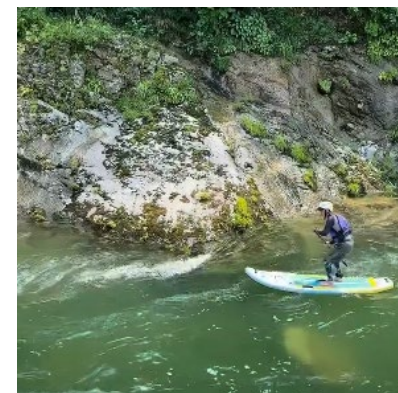
整備メニュー（国）

整備メニュー（町）

路肩が広く駐車できるため
ピックアップに適している



ダウンリバー：カヤック、ラフティング、バックラフト、SUP（サップ）などの小型ボートを使用し、川の上流から下流へ向かって流れに乗って下るアウトドアアクティビティ。



太田川（津浪）でのダウンリバー（SUP）のようす

3. かわまちづくり計画について 【内容確認】

(4) 利活用・整備計画

	場所	利活用メニュー	整備メニュー	整備役割	
				国	町
津浪地区	ぶらっとホーム つなみ周辺	■ぶらっとホームつなみ ・ 花・ホテルの見頃等の情報案内・発信 ・ 伝統行事の場 ・ ハイカーの交流拠点 ■河川敷 ・ ドッグラン ・ 憩い（ピクニック等） ■太田川（水辺） ・ 川遊び ・ 釣り ・ 自然体験（アマゴのつかみ取り等）	管理用通路（階段・坂路）	●	
			駐車場・ロードバイク駐輪場		●
			案内表示板		●
			トイレ		●
温井地区	龍姫湖周辺	■湖面エリア ・ 遊覧船 ・ ウェイクサーフィン	管理用通路（坂路）	●	
		■湖面エリア ・ カヤック、SUP ・ 湖面ツアー ・ オープンカフェ ・ アーバンスポーツ ・ 憩い（ピクニック等）	管理用階段	●	
		■半島エリア ・ 天体観測 ・ ヨガ・フィットネス運動 ・ 湖畔カフェ ・ グランピング	基盤正整（展望広場）	●	
		■半島エリア ・ 周辺施設⇄湖面へのアクセス ・ 散策 ・ 川遊び・自然体験	管理用通路・階段（遊歩道）	●	
	ダム堤体	・ ダム見学ツアー ・ ダムのイベント ・ ライトアップ・プロジェクションマッピング	落下防止ネット・管理用階段	●	
			点検用通路の立入禁止柵	●	
	滝山川	・ 川下り・川遊び ・ 釣り ・ 自然体験（蛍鑑賞 等）	河川昇降路 ※今回の申請では除外	●	
		・ サイクリング ・ 散策	管理用通路の落石対策（サイクリングルート）	●	
			案内表示板		●
			ロードバイク駐輪場		●

3. かわまちづくり計画について【内容確認】

(5) 維持管理計画

【津浪地区】

- 『ぷらっとホームつなみ』は地域の交流拠点として住民が管理運営を行い、日常的に利用されている。地域行事のほか、周辺の河川敷では自然体験（アマゴのつかみ取り等）の活動が行われている。
- しかし後継者不足の課題があるため、今後は**新たな世代や事業者の参画を見据え、維持管理方針、具体的な運用、利活用上のルールについて、地域住民および関係部局と協議**を行いながら、具体的な内容を検討していく。



地域行事（春祭り）の様子

【温井地区】

- R 7.3 に龍姫湖の湖面一帯は河川敷地占用許可準則に基づく「都市地域再生等利用区域」の指定を受けており、安芸太田町占用のもと、事業者（一社 NUKUI OUTDOOR FIELD）がウェイクサーフィンやカヌー・SUP等のアクティビティを中心とした事業を実施し、占用施設の管理及び清掃などの維持管理を行っている。
- 整備後も引き続き、地域住民・事業者による運営・維持管理を予定している。**
- 整備箇所の維持管理方針、具体的な運用、利活用上のルールについては今後、事業者や地域住民、温井ダム管理所、その他関係部局と協議**を行いながら、具体的な内容を検討していく。



ウェイクサーフィンの様子

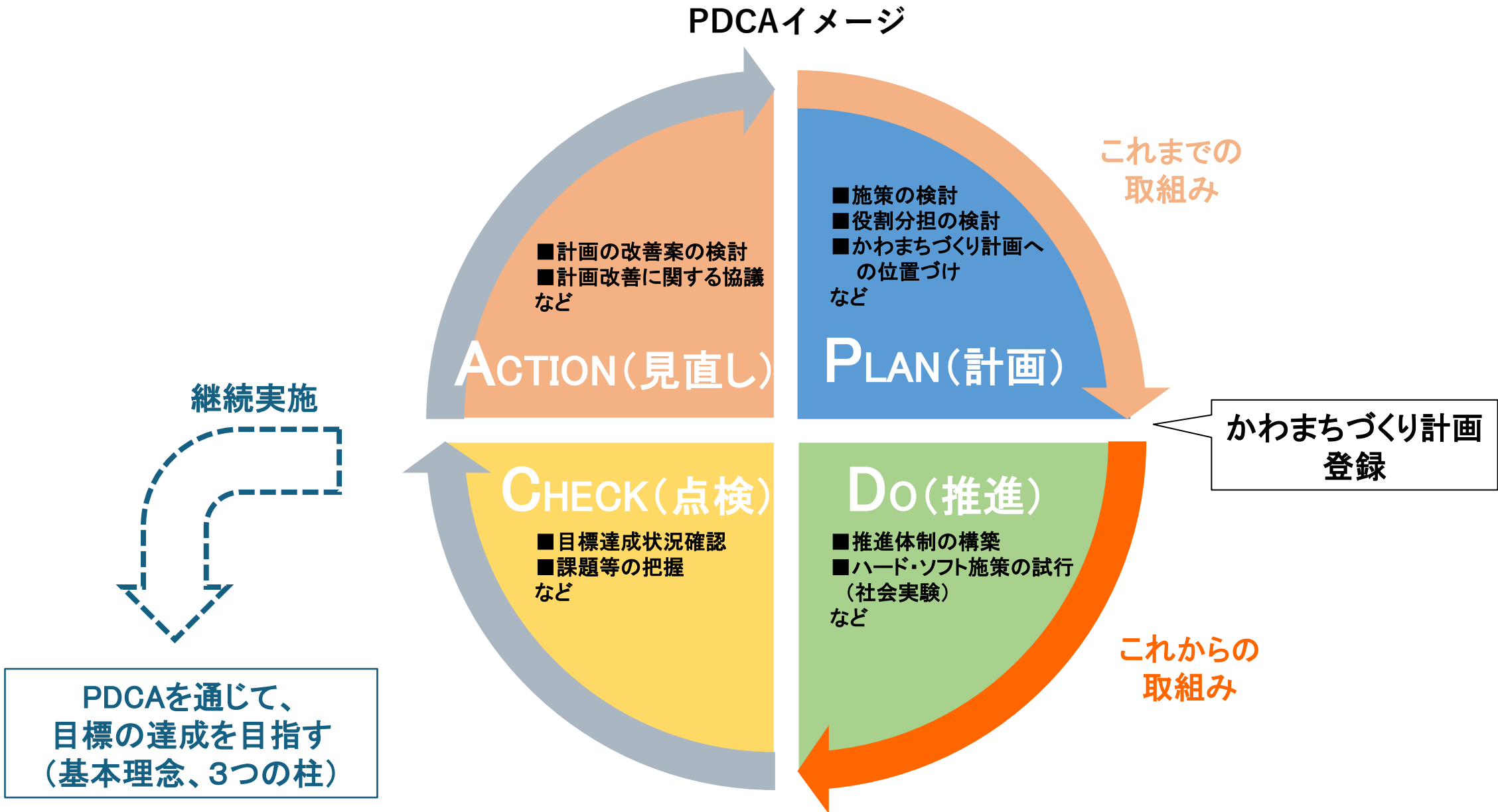
役割分担（案）

	場所	整備メニュー	国	町	地域住民・事業者	備考
津浪地区	ぷらっとホームつなみ	管理用通路（階段・坂路）	整備・補修		日常管理	
		駐車場・ロードバイク駐輪場		整備・補修	日常管理	
		案内表示板		整備・補修	日常管理	
		トイレ		整備・補修	日常管理	
温井地区	龍姫湖周辺	管理用通路（坂路）	整備・補修		日常管理	
		管理用階段	整備・補修		日常管理	
		基盤正整（展望広場）	整備・補修		日常管理	
		管理用通路・階段（遊歩道）	整備・補修		日常管理	
	ダム堤体	落下防止ネット・管理用階段	整備・補修		日常管理	
		点検用通路の立入禁止柵	整備・補修・日常管理			
	滝山川	河川昇降路 ※今回の申請では除外	整備・補修		日常管理	
		管理用通路の落石対策（サイクリングルート）	整備・補修		日常管理	
		案内表示板		整備・補修	日常管理	
		ロードバイク駐輪場		整備・補修	日常管理	

4. 計画登録後の施策の推進について

(1) PDCAイメージ

・計画登録後は、「推進体制の構築」と「取組みの試行(社会実験)」を通じながら、施策の推進を図っていきます。



参考: 四万十川かわまちづくり 協議会資料

4. 計画登録後の施策の推進について

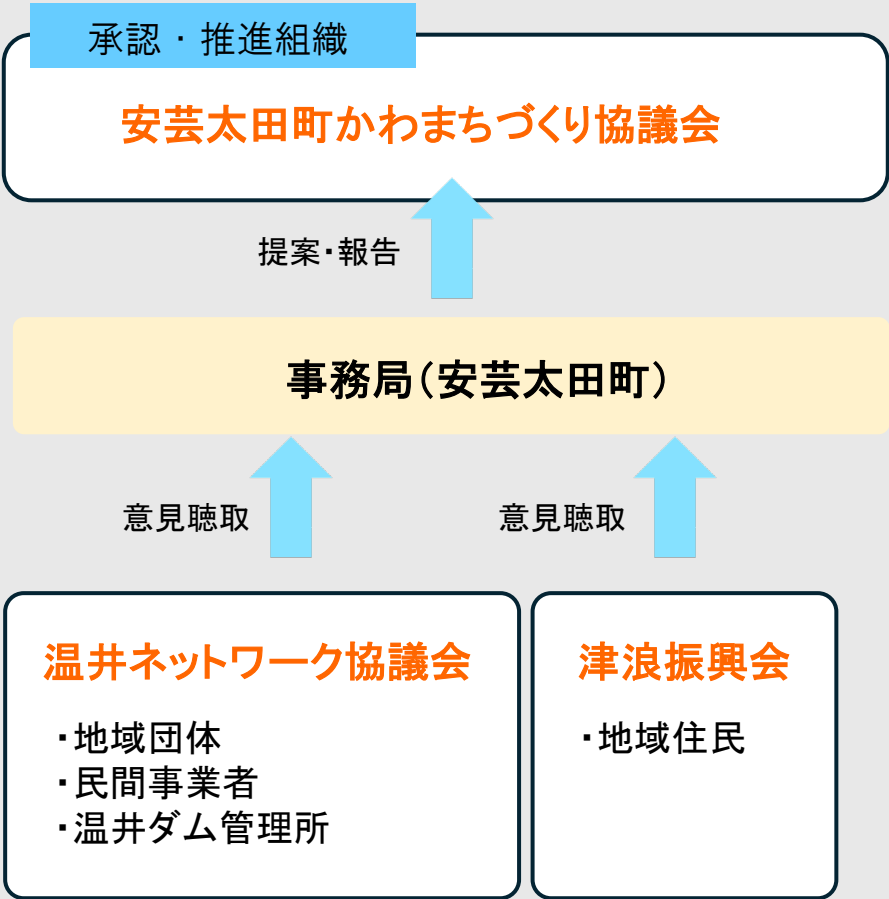
(2) 今後の推進体制

・今後、施策の“担い手”を中心とした推進体制を構築し、計画を着実に推進していきます。

体制イメージ

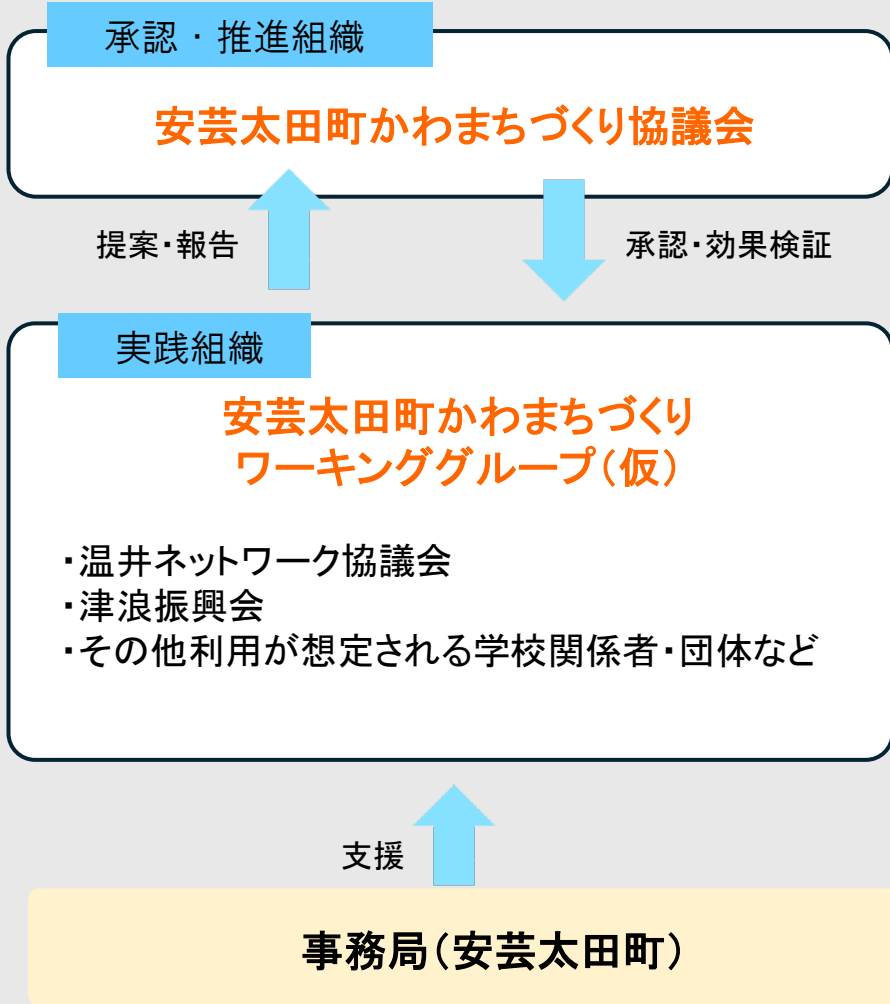
■かわまち計画検討時

目的：かわまち計画の検討、承認



■かわまち計画推進時

目的：かわまち計画の推進に向けた具体検討

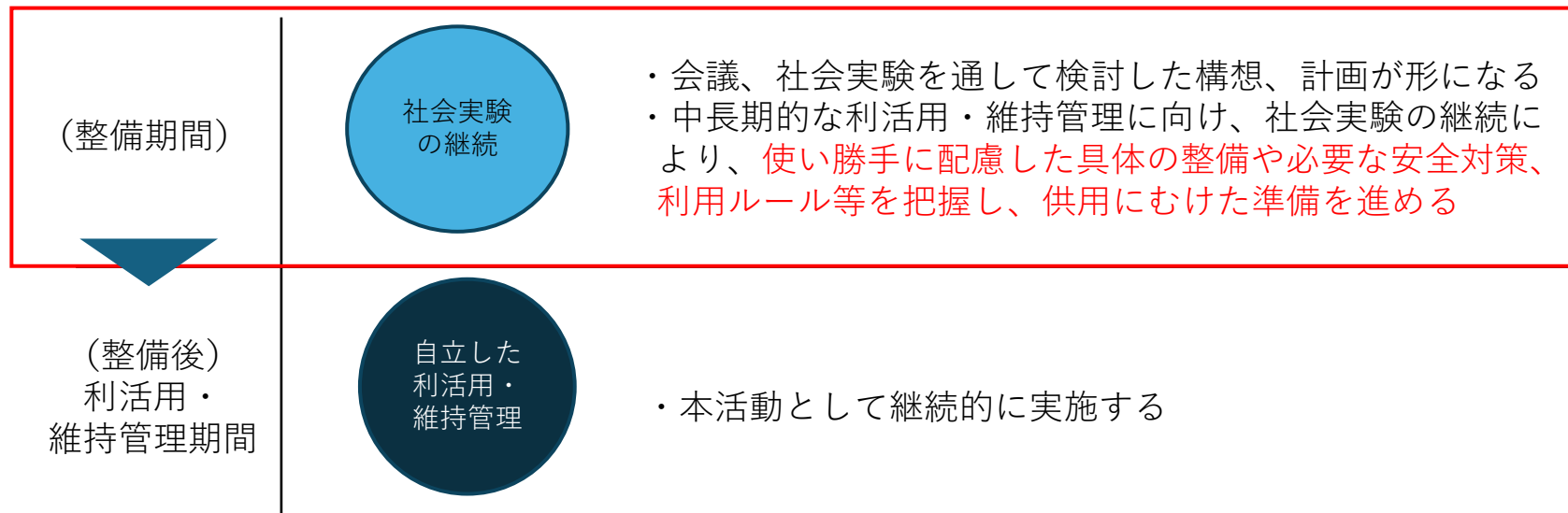


4. 計画登録後の施策の推進について

(3) 取り組みの試行（社会実験）

- ・施策を試行的に取り組む「社会実験」を行い、現状の課題の把握と、計画の実現に向けた準備を進めます。

①社会実験とは … 一般に、新たな制度や技術などの施策を導入する際、場所と期間を限定して試行することで有効性の検証や問題の把握を行うもの。



②社会実験案

目的：

- ・利活用上の課題を認識し、整備プラン等の具体化
- ・拠点間周遊によるにぎわい創出や地域連携の方策検討

①現地確認

かわまちづくり計画の整備予定地区を巡り、利活用における課題の把握と、拠点間の周遊促進に向けた方策の検討する。

【実施時期】

【参加者】協議会構成員

【現地踏査箇所】

②津浪での情報発信

プラットフォームつなみで観光放流のチラシを配布し、温井地区への来訪人数の増減を把握する。

【実施時期】

【広報手法】

【来訪者の把握方法】

③バスツアー

各拠点間の移動需要や所要時間、参加者の満足度を把握し、広島市内からイベント会場までの効果的な周遊促進方策を検討する。

【実施時期】

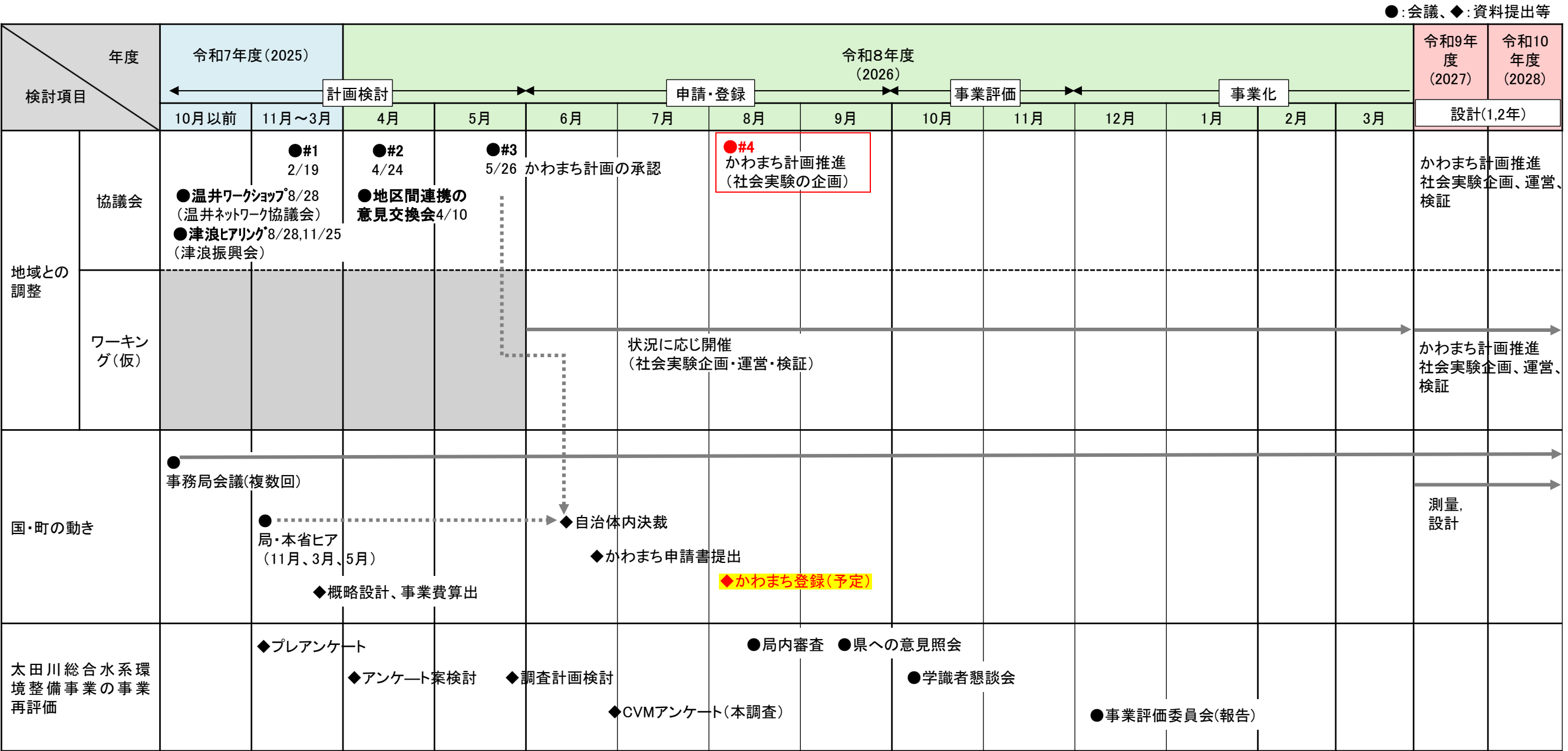
【募集方法】

【広報手法】

【見学地点】

5. 今後の予定

- ・本日ご確認いただいた「かわまち計画」をもとに町が申請書を作成し、6月に国へ提出します（登録は8月）。
- ・次回協議会は8月頃の開催を予定しています。協議内容はかわまち計画の推進に向けた社会実験の企画です。



※状況によりスケジュールは変更となる場合があります。

参考① 利活用・整備に対する地域意見

①津浪地区（ぷらっとホームつなみ周辺エリア）



凡例1

整備の要望・アイデア

利活用アイデア

赤字：多数みられたご意見

凡例2

津浪振興会への意見聴取

ぷらっとホームつなみ打合せでのご意見

第1回協議会での意見聴取



参考① 利活用・整備に対する地域意見

②温井地区（龍姫湖周辺・湖面エリア）



凡例1

整備の要望・アイデア

利活用アイデア

赤字：多数みられたご意見

凡例2

温井かわまちづくりWSでの意見

第1回協議会での意見聴取

社会実験での意見

③温井地区（龍姫湖周辺・半島エリア）



凡例1	凡例2
整備の要望・アイデア	温井かわまちづくりWSでのご意見
利活用アイデア	第1回協議会での意見聴取
赤字：多数みられたご意見	社会実験での意見

遊歩道の活用

- BMX等のオフロードコース
- 古い転落防止柵の修繕
- 昆虫採集のための照明・トラップ設置

現地状況

半島と対岸を結ぶジップラインの整備

除雪した雪を用いてソリ等の遊び場に

半島（温井ダム直上流）

網場

広場の整備

- 「龍姫の像」設置
- 湖上グランピングの整備
- ヨガ等のフィットネス施設整備
- テントサウナ
- 半島内に天体観測場や湖畔カフェを整備

半島先端部の様子

(至)温井ダムリゾート

← 既存道へつながる坂路

橋梁跡

小温井川

(至)湖面駐車場

小温井川での川遊び、自然体験

- ウォータースライダー等親水施設の整備
- 小温井川上流で水遊び、蛍の鑑賞

周辺施設へのアクセス整備

- 遊歩道から湖面駐車場までのアクセス道
- テニスコートから湖面駐車場への階段
- グローバルリゾート温井を拠点とした周辺施設へのアクセス道
- 温井ダムリゾートからのアクセス道

（至）グローバルリゾート NUKUI

＜流側の様子＞

④温井地区（ダム堤体・滝山川エリア）



凡例1

整備の要望・アイデア

利活用アイデア

赤字：多数みられたご意見

凡例2

温井かわまちづくりWSでのご意見

第1回協議会での意見聴取

地区間連携についての意見交換会での意見（事業者意見）

社会実験での意見

ダムでのイベント

プロジェクトマッピング、花火

夜間のダム放流

ドローンショー

売店の出店

ダムの高さがエジプトのピラミッドと同等であることにあやかり「逆さピラミッド登頂（階段下り）」イベントの実施

現地状況

バンジー・ジャンプ等の降下 アクティビティ

ダム放流が一望可能な場所
に渡り橋を整備

学習ツアー

ダム内部の見学ツアー

学生向け川とダムの学習ツアー

川下り、川へのアクセス整備

温井ダム下流から滝本ダム上流までの間の両サイドの道路、川への降り口等を活かした川下り、川遊び、ホタル鑑賞を楽しむゾーンをつくる

溪流釣りやSUP・カヤックでの川下り

上級者向けのリバーサーフィン・ダウンリバー（川の流れを利用したSUP）コース。西日本では希少

太田川をくだる流水SAP

現地状況

河川昇降路入口

滝山川

津浪地区を起点として温井ダムまで徒歩、自転車で往復する自然満喫散策・サイクリングコースを設置

参考② 利活用メニューのニーズ整理

	場所		利活用メニュー	ニーズ等				整備後の実現性	
				温井地区 ワーク ショップ	津浪振興 会ヒアリ ング	社会実験（事 業者・利用 者意見）	第1,2回 協議会	実現性	課題等
津浪地区	ぷらっとホーム つなみ周辺	■ぷらっとホームつなみ	・ 花・ホテルの見頃等の情報案内・発信	●	●		●	△	担い手探し
			・ 伝統行事の場	●	●		●	◎	
			・ ハイカーの交流拠点		●			◎	
		■河川敷	・ ドッグラン				●	△	担い手探し
			・ 憩い（ピクニック等）		●		●	◎	
		■太田川（水辺）	・ 川遊び	●	●		●	◎	
			・ 釣り	●	●		●	◎	
			・ 自然体験（アマゴのつかみ取り等）		●		●	◎	
温井地区	龍姫湖周辺	■湖面エリア	・ 遊覧船				●	◎	
			・ ウェイクサーフィン	●		●		◎	
			・ カヤック、SUP	●		●	●	◎	
			・ 湖面ツアー	●				◎	
			・ オープンカフェ			●		△	担い手探し
			・ アーバンスポーツ	●				○	利用ルールの策定
			・ 憩い（ピクニック等）	●		●	●	◎	
		■半島エリア	・ 天体観測	●			●	◎	
			・ ヨガ・フィットネス運動	●			●	◎	
			・ 湖畔カフェ	●			●	△	利用ルールの策定 担い手探し
			・ グランピング	●			●	△	利用ルールの策定 担い手探し
			・ 散策				●	◎	
			・ 川遊び・自然体験	●			●	◎	
	温井ダム周辺	■ダム堤体エリア	・ ダム見学ツアー			●	●	◎	
			・ ダムのイベント	●			●	◎	
			・ ライトアップ・プロジェクションマッピング	●			●	△	担い手探し
	滝山川周辺	■滝山川エリア	・ 川下り・川遊び			●	●	◎	
			・ 釣り			●	●	◎	
			・ 自然体験（蛍鑑賞 等）				●	◎	
			・ サイクリング			●	●	◎	
			・ 散策				●	◎	

参考③ 地区間連携に対する地域意見（意見要約）

地区間連携についての意見交換会

日 時：令和 8 年4月 10日(金) 15：00～16：30
場 所：安芸太田町役場
出席者：（一社）NUKUI OUTDOOR FIELD、（一社）地域商社
あきおおた、安芸太田町、太田川河川事務所、温井ダム管理所



○意見要約

①連携テーマの設定

- ・津浪、戸河内～三段峡は「自然」
- ・津浪～加計～温井ダムは「水を知る・学ぶ」
- ※入口は『津浪』

②二次交通の整備

- ・周遊バスの社会実験
- ・サイクリングロード瀬尾の
- ・ヘリポートの貸出

②アクティビティ連携

- ・ダムツアーとサイクリングのタイアップ

③観光コンテンツ・教育プログラム等の造成

- ・津浪地区～温井ダムの各拠点を巡り、水について学ぶツアー
- ・学習ツアーによる広島市内からの学生・団体誘致
- ・川・森・文化・交流センター（学習拠点）の活用
- ・企業、団体、一般向け誘客プログラム販売

④団体間連携による情報発信

- ・道の駅やぷらっとホームつながみを情報発信の拠点に
- ・団体の垣根を越えた情報発信（合同周遊冊子の作成）

項目	第1回協議会	意見交換会	第2回協議会
連携テーマの設定		・三段峡は自然の素晴しさをテーマに、温井～加計エリアは「水を知る・学ぶ」をテーマにしてはどうか	・テーマを定めて一体的なアプローチを行うことが重要
		・SUP・カヤックで湖面利用しながら温井ダムを感じてもらうのはどうか	
二次交通	・各コンテンツをつなぐ周遊バスなどの社会実験 ・二次交通の確保（町全域を楽しめる環境整備）	・ウェイクサーフィンではヘリを移動手段とするような規模の富裕層も参加している。緊急用ヘリポートを活用した受入れも考えられる	
アクティビティ連携	・太田川交流館かけはし前でSUPやカヤックのスローラムコースの増設 ・加計～津浪周辺で中上級者向けのダウンリバー ・ぷらっとホームつながみを起点として温井ダムまで徒歩、自転車で行く自然満喫散策・サイクリングコースを設置（道中の加計市街地での休憩場所の確保も検討）	・NUKUI OUTDOOR FIELDが実施する右岸側のダム見学ツアーと自転車イベントのタイアップ	
観光コンテンツ・教育プログラム等の造成	・風災窯やたたらの歴史、川舟の歴史等安芸太田の歴史文化をツアーに取り入れる ・「川を歩く→食べる→買う→泊まる」を一連の体験に ・川魚や地域ならではの食材を存分に楽しめる食事 ・上流域の役割や価値を伝えるプログラム（社会見学・旅行）を企画し、環境保全や教育、地域が誇りを持てる町づくりにつなげる	・温井ダムの水が供給される地域の学生を対象とした水を学ぶツアーの造成・PRの実施（地域商社あきおおたの寶珠氏） ・RiverDo!の方は、広島市内の子どもたちに太田川流域について学んでもらい、上流域が下流域の発展を支えていることを伝えたいとしている ・学習・交流の拠点として、川・森・文化・交流センターの活用	・町の行事が風物詩として町内外から注目される目玉コンテンツをつくる（加計周辺での牡蠣小屋など） ・プロジェクションマッピングや花火大会など夜に滞在してもらう仕組みづくり ・教育旅行の一環として龍姫湖でのSAPやカヤック体験
	・川を活用した地域の教育プログラムや町民向けの支援 ・企業や団体向けの誘客促進プログラムの造成及び販売 ・一般受け入れ向けのプログラムづくりと販売	・子どもたちの基礎知識の形成につながり、未来にもつながるため、学校教育の中で活用してほしいという思いがある（NUKUI OUTDOOR FIELD）	・広島市内から近い為、教育旅行の一環としてダム見学やSAP体験などのアクティビティ体験のスケジュールが組みやすく、誘致が狙える
団体間連携による情報発信	・広島等から来てもらうべく宣伝 ・ネット配信等による誘客 ・他地域へプログラムの紹介 ・全国的な認知度向上のため取組みを国土交通省や観光庁等のプレスリリース等で広報・周知	・津浪地区は「川を知る」入口のような位置付けが考えられないか ・安芸太田町全体の案内チラシを作成し、リニューアルされる道の駅などで情報発信を行うことがよいのではないかと ・例えば水をテーマに、町が指揮をとり、商工会や地域の団体がそれぞれの役割をもって周遊冊子をつくるというようなことができないか	・現地で情報収集する人向けに情報発信を活発に行うことが重要 ・津浪を中心とした距離や所要時間のわかる観光案内マップの作成 ・プラットホームつながみを情報発信拠点としてダムの情報やデジタル看板、チラシ等による情報発信の実施 ・地域が一体となった情報発信を行い、周遊ルートによる拠点間移動の促進

全体に関するご意見

観光コンテンツ・教育プログラム等の造成

棚田を見て、鯛焼きを食べて、温井ダムに来てもらえるよう、**津浪地区で情報発信**ができれば地区間がつながるのではないかな

上流域の役割や価値を伝えるプログラム（**社会見学・旅行**）を企画し、環境保全や教育、地域が誇りを持てる町づくりにつなげる

一般受け入れ向けのプログラムづくりと販売

テーマを定めて体系的アプローチを行うことが重要

川を活用した地域の**教育プログラム**や**町民向けの支援**

川魚や**地域ならではの食材**を存分に楽しめる食事

「川を歩く→食べる→買う→泊まる」を**一連の体験**に

タケノコやワラビなどは需要があり、お客さんに来てもらえるような場の整備を行う必要がある

川遊びの団体受け入れができる場所（バスの駐車場、川までの移動、暑さ対策を考慮）を整備

社会実験

津浪地区の入り口としての機能を検証するため、**ぶらっとホームつなみで観光放流**についてのチラシを配り、どれだけ温井地区に来る人が増えるのかという**社会実験を実施**したい。交流館かけはし等の拠点への立ち寄りも検証できれば。

情報発信

温井ダムの**魅力を発信**する必要がある（**インバウンド向けの情報発信メディア**への登録など）

各地区の情報を集約した冊子を制作することも**連携として十分な効果**が見込まれるのではないかな

津浪地区は「ぶらっと」人が来る場所なので、**入口としての情報発信**を行い、温井地区にも寄り道してもらえるようにできないかな

津浪を中心とした距離や所要時間のわかる観光案内マップの作成

プラットホームつなみを**情報発信拠点**としてダムの情報やデジタル看板、チラシ等による情報発信の実施

現地で情報収集する人向けに**情報発信を活発に行う**ことが重要

ネット配信等による誘客

広島等から来てもらうべく**宣伝**

地域が一体となった情報発信を行い、周遊ルートによる**拠点間移動の促進**

町内の**観光案内板**（英語案内）の整備や増設

二次交通

各コンテンツをつなぐ**周遊バス**などの社会実験

二次交通の確保（**町全域を楽しめる環境整備**）

広域的な賑わい戦略

具体的な**方針やターゲット、戦略**などを地域事業者や町民と共有し、対応する具体的な行動を集めて推進

山と川がもたらす海とのつながりを通した瀬戸内エリア/日本海エリアなどとの連携

水の恩恵を感じてもらい、広島市と連携し誘致を図っていきたい

他地域へ**プログラムの紹介**

期待できる効果

多くの人々が遊びに来ることで売店、ホテル、レストラン等の**需要が増加**するとともに、新たな雇用の創出も期待できる

川、ダムの様々な事業により高齢者、U・Iターン者、外国人等の**雇用先の確保**が可能となる

イベント利用

川辺のイベント（**マルシェ・ライトアップ・音楽祭**など）

町の行事が風物詩として町内外から注目される**目玉コンテンツ**をつくる（加計周辺での牡蠣小屋など）

プロジェクションマッピングや花火大会など**夜に滞在してもらう仕組みづくり**

地域行事の整理・統合を検討（費用の重点的・効果的な支出、行事集約と規模拡大）

特定の地区に対するご意見

温井エリアではターゲットィングを図りちょっと**上質なサービス**を提供する戦略をとりたい（受入キャバが少ない分的を絞る）

道の駅でも**太田川を活用したコンテンツ**の受入れ

太田川上流域に**トイレや着替えが出来る施設の整備**

西日本にあまりそのような場所がないため、**上級者向けのダウンリバー（川の流れを利用したSUP）コース**としてよいのではないかな。見通しが悪い場所なので、ガイド付きであれば可能であると考える。

温井ダム周辺の公共施設（野外ステージ、市民プールなど）の**運営管理方法**も検討していきたい

アクティビティ連携

多くの人々が遊びに来ることで売店、ホテル、レストラン等の**需要が増加**するとともに、新たな雇用の創出も期待できる

川、ダムの様々な事業により高齢者、U・Iターン者、外国人等の**雇用先の確保**が可能となる

ぶらっとホームつなみを起点として温井ダムまで徒歩、自転車車で往復する**自然満喫散策・サイクリングコース**を設置（道中の加計市街地での休憩場所の確保も検討）

地域のニーズとしては**溪流釣りやSUP・カヤックでの川下り**が考えられる。

加計〜津浪周辺で**中上級者向けのダウンリバー**

太田川交流館かけはし前で**SUPやカヤックのスローラムコース**の増設

日常利用

川沿いの利活用（**カフェ・キャンプ・ワークスペース**）

課題・その他ご意見

観光・教育プログラムや各種コンテンツの受入れについては地域との協議が必要

関係機関が連携し安芸太田町の来訪者が少なくとも1日は遊べ、再訪したいと思うものに作り上げる必要がある

ラフティング体験は水量が足りず担いで一部移動するなど課題があり、今年度から受け入れを断っている。

限られた予算で多くの人を楽しんでもらうためには拠点間や地区間が連携した取り組みが重要

実証実験など、かわまちづくりと併せて、ソフト面もしっかり進行すべき

「かわまちづくり」はとても興味深い計画だが実施の効果も重要

手頃な費用で幅広い人々が楽しめる川・湖面の活用を検討することが大切